
気象災害時に避難行動を促す 報道発表の表現に関する研究

早稲田大学 修士1年 星野希実

研究背景・目的

背景

気象庁の報道発表では改善が進み、2019年に警戒レベルが導入され、**警戒レベル**ごとにとるべき行動が決められている¹⁾

しかし、**避難をしないこと**や、**逃げ遅れること**による被災が多い²⁾

気象庁では、防災気象情報の伝え方に関する検討会が行われている³⁾が、**用語の表現**や、**住民の心理**に関する検討は見られない

目的

気象災害時の報道発表の表現の現状把握
恐怖コミュニケーションモデルに基づいた報道発表の表現の検討

1)気象庁：防災気象情報と警戒レベルとの対応について<<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>> (最終アクセス日：2020/11/02)

2)気象庁：令和元年台風第19号等を踏えた水害・土砂災害からの避難のあり方について
<<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/dai3kai/siryo1.pdf>> (最終アクセス日：2020/10/19)

3)気象庁：防災気象情報の伝え方に関する検討会<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kentoukai/tsutaekata/tsutaekata_kentoukai.html> (最終アクセス日：2020/11/02)

報道発表の定義

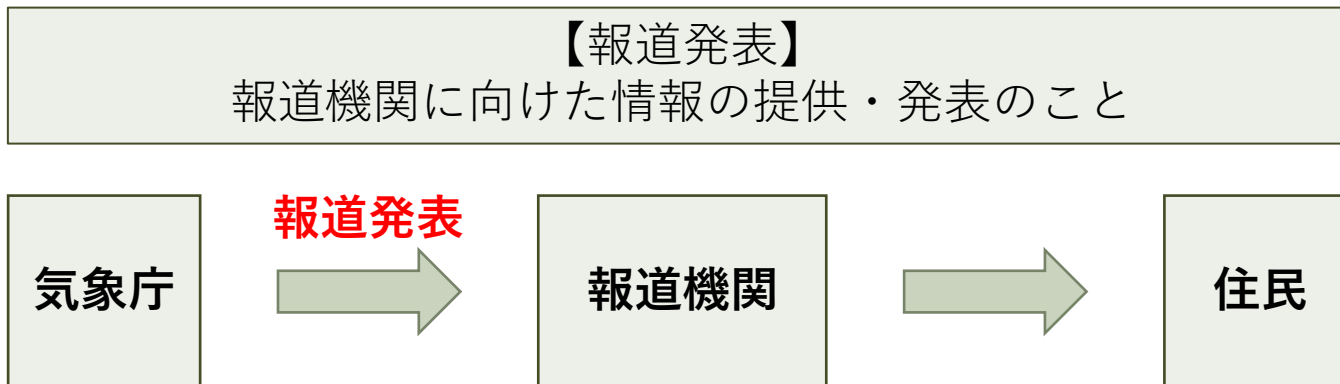


図1 情報伝達のイメージ⁴⁾

梅雨前線に伴う大雨の見通しについて
(土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に警戒)

令和2年7月13日11時00分

<概況> 梅雨前線が黄海から西日本を通り、伊豆諸島付近にのび、前線上の黄海の低気圧が東北東に進んでいる。西日本の日本海側と北陸地方を中心に雨が降っており、これまでの大雨により東北地方と九州北部地方を中心に土砂災害の危険度が高い所がある。

<気象の見通し> 低気圧は14日にかけて日本海を東北東に進む。前線は、13日は西日本を北上、14日は東日本、東北地方を北上、西日本付近を南下する。西日本では14日にかけて、東日本では14日に雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある見込み。15日は西日本、東日本の太平洋側に停滞する前線や低気圧の影響で大雨となり、少なくとも15日まで大雨が続くおそれ。前線は16日頃にやや南下、その後17日以降は北上し、本州付近にある見込み。

<警戒事項> 土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

- ▶ 各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。地元市町村の避難情報にも留意。
- ※お住まいの場所が安全な場所か否かバードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。
- ▶ どこで危険度が高まっているかを大雨・洪水警報の危険度分布で確認してください。危険度の高まっている領域では、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。
- ▶ 急傾斜地や増水している河川、農業用水など、危険な場所に近づかないでください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報: <https://www.jma.go.jp/ip/warn/>)

危険度分布

7月11日
10時時点の資料

土砂災害

大雨警報（土砂災害）の危険度分布
(土砂災害警戒区域等指定区域)

高	極めて危険	【警戒レベル4相当】
高	非常に危険	【警戒レベル4相当】
中	警戒	【警戒レベル3相当】
低	注意	【警戒レベル2相当】

(今後の情報等に留意)

洪水

洪水警報の危険度分布

高	極めて危険	【警戒レベル4相当】
高	非常に危険	【警戒レベル3相当】
中	警戒	【警戒レベル3相当】
低	注意	【警戒レベル2相当】

(今後の情報等に留意)

- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(危険度分布: <https://www.jma.go.jp/ip/suigaimesh/flood.html>)

図2 気象庁による報道発表 ⁵⁾⁶⁾

- 4) 総務省：災害時における情報伝達と通信手段 < https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chosa/eisei_inet/pdf/chap03.pdf > (最終アクセス日：2020/10/23)
- 5) 気象庁：報道発表 梅雨前線に伴う大雨の見通しについて < <http://www.jma.go.jp/jma/press/2007/13a/kaisetsu202007131100.pdf> > (最終アクセス日：2020/10/19)
- 6) 気象庁：報道発表 梅雨前線に伴う大雨の見通しについて < <http://www.jma.go.jp/jma/press/2007/11a/kaisetsu202007111100.pdf> > (最終アクセス日：2020/10/19)

報道発表における問題提起

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の問題提起

アンケート調査による報道発表の表現の検討

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の表現の検討

提案・今後の展望

災害時の避難の意思決定を目的とした報道発表に向けた提案

報道発表における問題提起

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の問題提起

アンケート調査による報道発表の表現の検討

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の表現の検討

提案・今後の展望

災害時の避難の意思決定を目的とした報道発表に向けた提案

恐怖コミュニケーションモデルに基づいた報道発表の分析

【恐怖コミュニケーション】
説得に従わないと何らかの悪影響があるという
恐怖感を与えることで**説得性が強化**できる

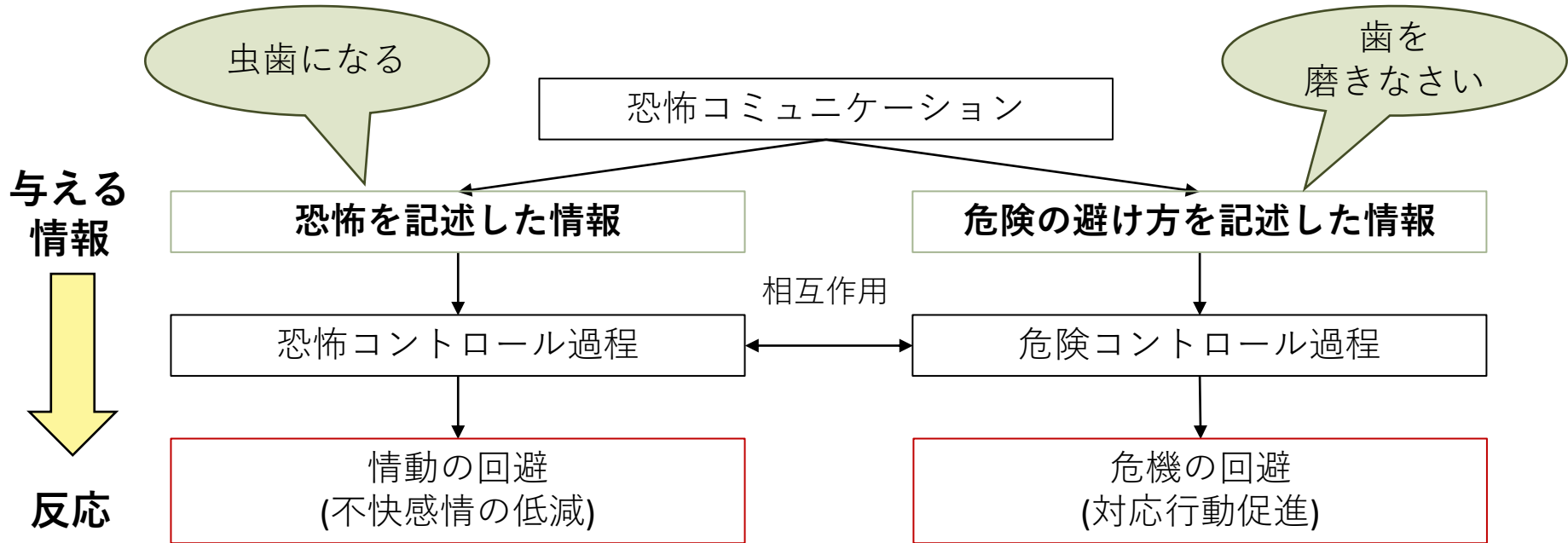


図3 レーベンサールの平行反応モデル⁷⁾

恐怖を記述した情報
「**恐怖喚起情報**」とし、**住民への悪影響を描写した情報**とする
危険の避け方を記述した情報
「**危険の避け方**」とする

⁷⁾池田謙一：意思決定の基礎—緊急時意思決定モデルの展開—，東京大学新聞研究所紀要，NO.32，pp.237-289，1984

恐怖コミュニケーションモデルに基づいた報道発表の分析

表1 報道発表の傾向調査・分析概要

目的		報道発表における用語の表現の現状把握
分析対象	資料	気象災害時の気象庁の 報道発表
	対象災害	気象庁HP 「災害をもたらした気象事例」の中で 死者が発生した災害
	期間	2013年9月(特別警報の運用開始) ～2020年7月

表2 恐怖喚起情報にあたる報道発表の内容

恐怖喚起情報(住民に対する悪影響)
命の危険が伴う
土砂崩れや浸水により、既に避難が困難
(特別警報が発令されてからの避難) 手遅れになる

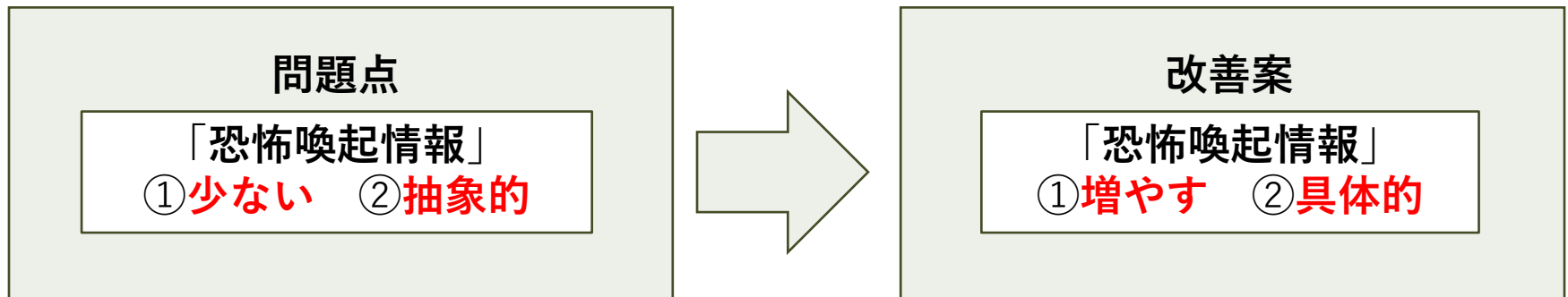
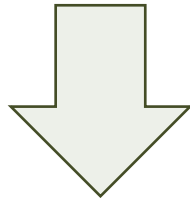
表3 危険の避け方にあたる報道発表の内容

危険の避け方
急傾斜地や増水している河川、農業用水など、 危険な場所には近づかない
屋外での作業や不要・不急の外出は控える
崖の反対側、家の2階以上の部屋に移動、 近くの頑丈な建物の上の階に避難 浸水が及ばない上層階に移動
直ちに避難
注意・警戒・警戒を継続
余裕を持った対応
適切な行動 少しでも命の助かる可能性の高い行動
大雨特別警報が警報に切り替わった後も、 油断することなく、安全を確保する
情報を活用する
最善を尽くす
避難の判断をする
早めの避難
心掛ける・必要・重要・お願い

【恐怖コミュニケーションに基づいた問題点と改善案】

表4 恐怖コミュニケーションに基づいた傾向

恐怖喚起情報	危険の避け方
2019年以降に出現 「手遅れ」「困難」「命の危険が及ぶ」	具体化・行動パターンの増加 「二階以上」「留まる」など



報道発表における問題提起

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の問題提起

アンケート調査による報道発表の表現の検討

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の表現の検討

提案・今後の展望

災害時の避難の意思決定を目的とした報道発表に向けた提案

表5 アンケート調査概要

目的	報道発表における「恐怖喚起情報」の記述と具体化による避難の意思決定の促進を検証するため
形式	Webフォームで回収
対象	日本在住の大学生・大学院生
期間	2020年10月15日～2020年10月23日
回収数	125
有効回答数	110
内容	回答者属性
	回答者の避難・被災経験
	回答者の警戒レベルの理解度
	6個の改善案の評価

表6 6個の改善案の内容

改善案の内容 (ランダムに提示)		①従来型
		②恐怖喚起排除型 1
		③恐怖喚起排除型 2
		④具体化型
		⑤ネガティブ型
		⑥組み合わせ型
尺度	恐怖感	どのくらい恐怖を感じましたか？：7段階 (非常に感じた、かなり感じた、やや感じた、どちらでもない、あまり感じなかった、ほとんど感じなかった、全く感じなかった)
	意思決定	避難勧告が発令されたときに、 どのくらいの割合の人が避難すると思いますか？ 0～100%で回答

報道発表の改善案の検討 | 改善案の内容

警戒レベル4に相当する既存の報道文を**従来型**に選定

表7 基準となる従来型の内容

型	恐怖喚起情報	危険の避け方	
従来型	特別警報が発表されてから避難するのは 手遅れ になります。	自分の命・ 大切な人の命を 守る ために	特別警報の発表を待つことなく、 避難勧告(警戒レベル4)等に従い、 直ちに避難の判断を してください。

従来型を基準に**用語の変更**

表8 従来型を基準とした変更内容

型	恐怖喚起情報	危険の避け方	目的
①従来型	手遅れ	守る	基準
②恐怖喚起排除型1	×	×	恐怖喚起情報の 記述 の効果
③恐怖喚起排除型2	×	守る	恐怖喚起情報の 記述 の効果
④具体化型	死因	守る	恐怖喚起情報の 具体化 の効果
⑤ネガティブ型	手遅れ	失う	ネガティブ化の効果
⑥組み合わせ型	死因	失う	恐怖喚起情報を強めた時の効果

報道発表の改善案の検討 | 改善案の内容

表9 「恐怖喚起情報」と「危険の避け方」の組み合わせ

型	恐怖喚起情報	危険の避け方	
①従来型	特別警報が発表されてから避難するのは手遅れになります。	自分の命・大切な人の命を守るために	特別警報の発表を待つことなく、避難勧告(警戒レベル4)等に従い、直ちに避難の判断をしてください。
②恐怖喚起排除型1	×	×	
③恐怖喚起排除型2	×		
④具体化型	土砂災害による家屋損壊や生き埋め、河川の増水や氾濫に伴う家屋浸水による溺死の危険があります。	自分の命・大切な人の命を守るために	
⑤ネガティブ型	特別警報が発表されて位から避難するのは手遅れになります。	自分の命だけでなく家族や大切な人を失う危険があります。	
⑥組み合わせ型	土砂災害による家屋損壊や生き埋め、河川の増水や氾濫に伴う家屋浸水による溺死の危険があります。		

表10 改善案の評価尺度

尺度	恐怖感	どのくらい恐怖を感じましたか？：7段階 (非常に感じた、かなり感じた、やや感じた、どちらでもない、あまり感じなかった、ほとんど感じなかった、全く感じなかった)
	意思決定	避難勧告が発令されたときに、どのくらいの割合の人が避難すると思いますか？ 0～100%で回答

特別警報が発表されてから避難するのは手遅れになります。
自分の命・大切な人の命を守るために特別警報の発表を待つことなく、
避難勧告(警戒レベル4)等に従い、直ちに避難の判断をしてください。

◆上の文を読んで、あなたはどのくらい恐怖を感じましたか？

- 非常に感じた
- かなり感じた
- やや感じた
- どちらでもない
- あまり感じなかった
- ほとんど感じなかった
- 全く感じなかった

◆上の文を読んで、避難勧告が出された場合、どのくらいの方が避難すると思われますか？0～100%で回答してください。

0%



100%



アンケート結果 | 6個の改善案における恐怖感・意思決定の結果

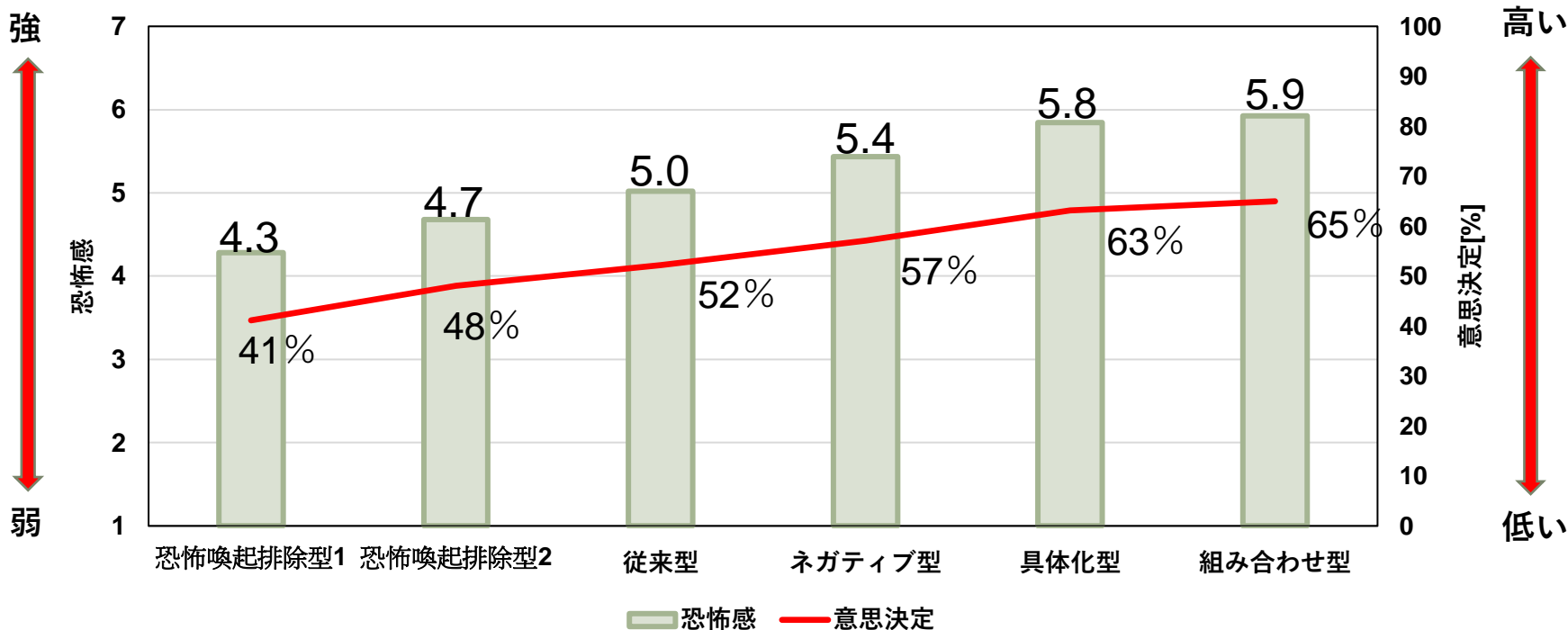
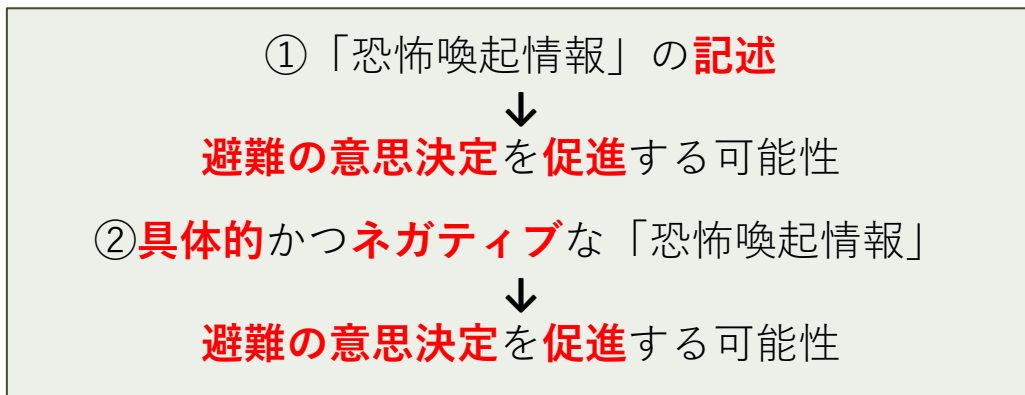


図4 6個の改善案における恐怖感と意思決定の平均

恐怖喚起排除型1 < 恐怖喚起排除型2 < 従来型 < ネガティブ型 < 具体化型 < 組み合わせ型

表11 凡例

型	恐怖喚起情報	危険の避け方
①従来型	手遅れ	守る
②恐怖喚起排除型1	×	×
③恐怖喚起排除型2	×	守る
④具体化型	死因	守る
⑤ネガティブ型	手遅れ	失う
⑥組み合わせ型	死因	失う



アンケート結果 | 6個の改善案における恐怖感・意思決定の結果

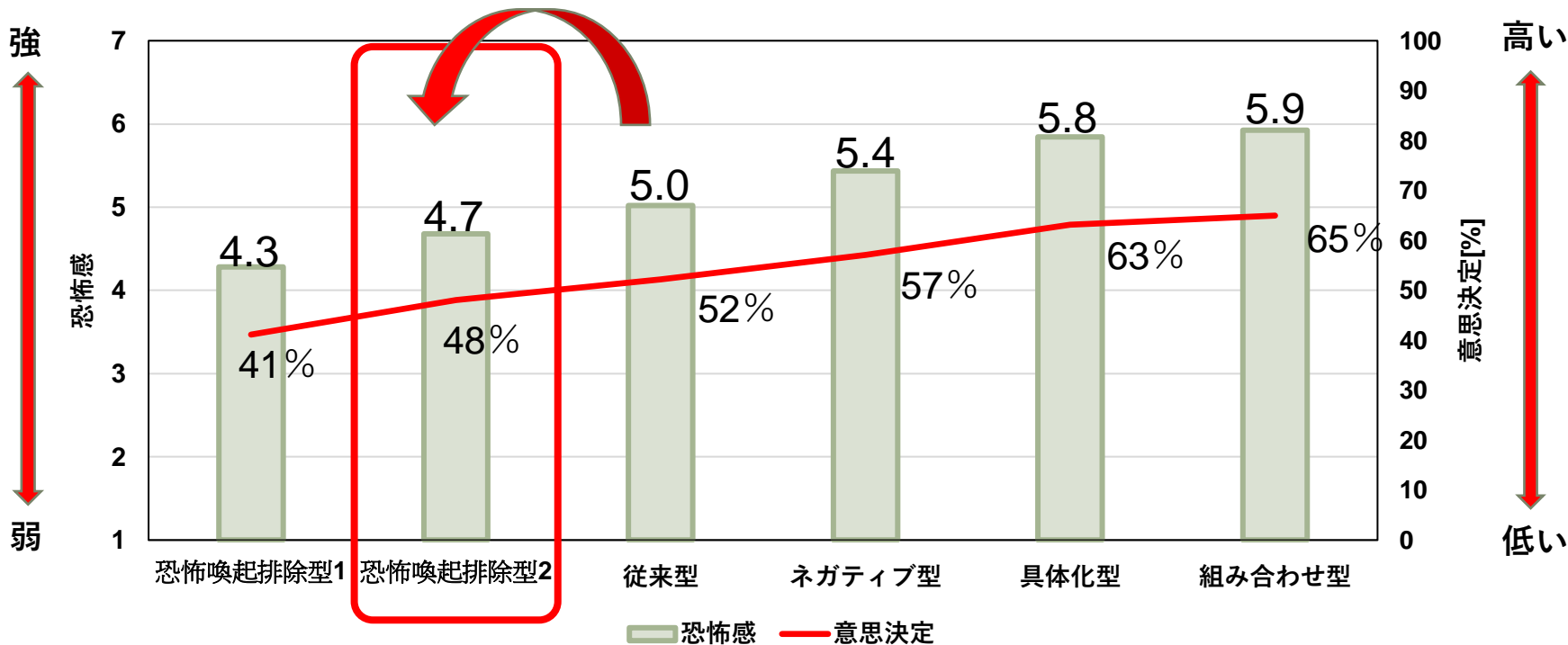
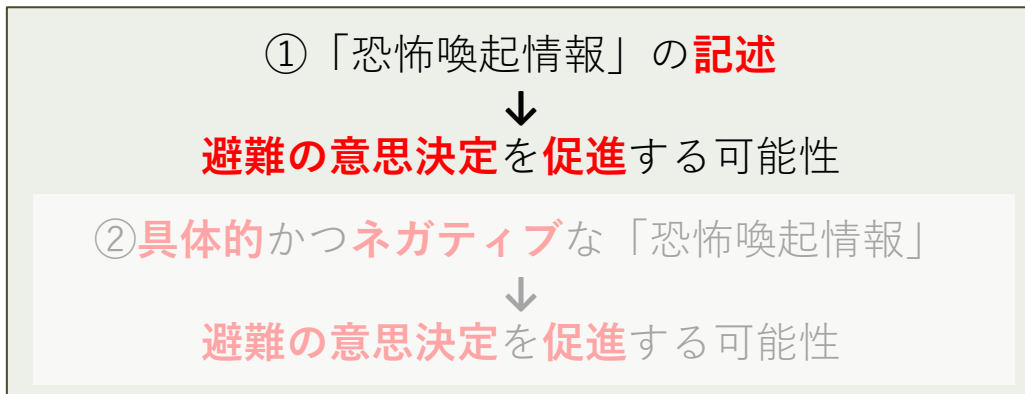


図4 6個の改善案における恐怖感と意思決定の平均

恐怖喚起排除型1 < 恐怖喚起排除型2 < 従来型 < ネガティブ型 < 具体化型 < 組み合わせ型

表11 凡例

型	恐怖喚起情報	危険の避け方
①従来型	手遅れ	守る
②恐怖喚起排除型1	×	×
③恐怖喚起排除型2	×	守る
④具体化型	死因	守る
⑤ネガティブ型	手遅れ	失う
⑥組み合わせ型	死因	失う



アンケート結果 | 6個の改善案における恐怖感・意思決定の結果

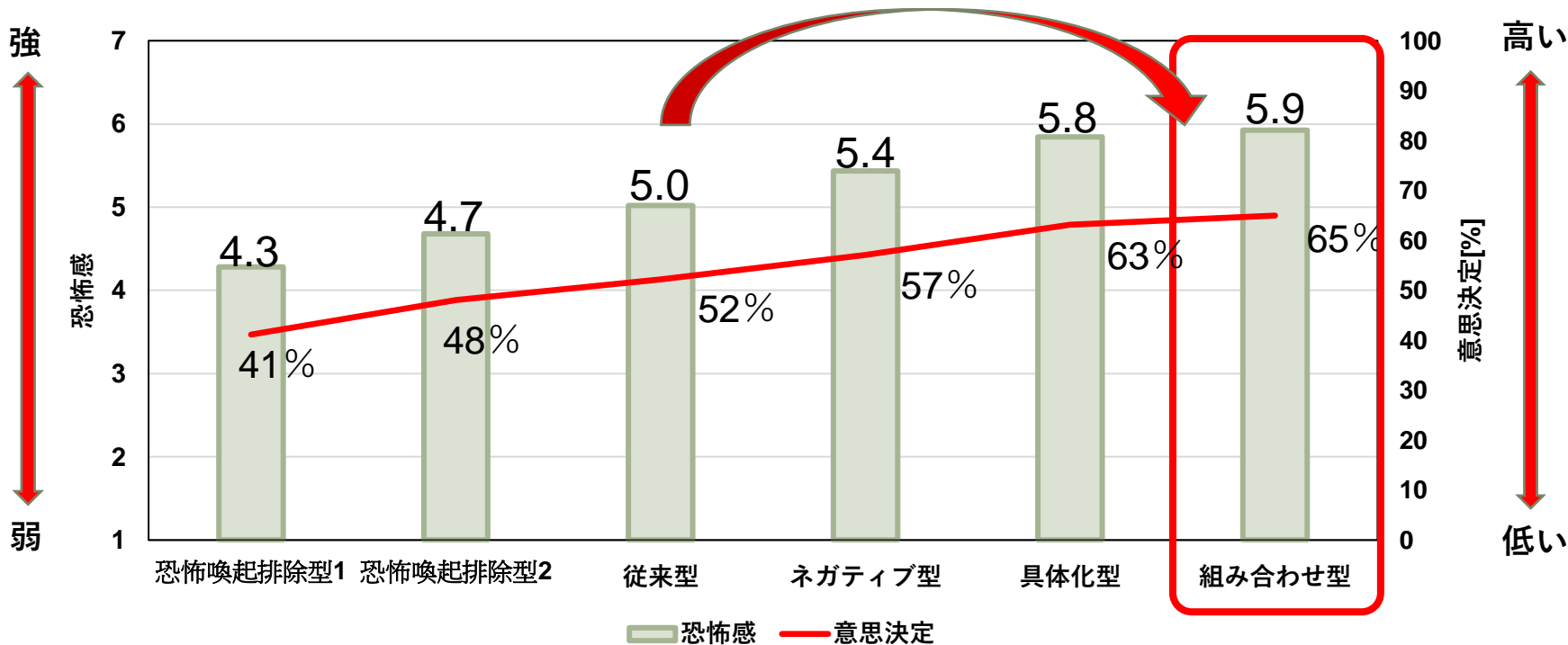
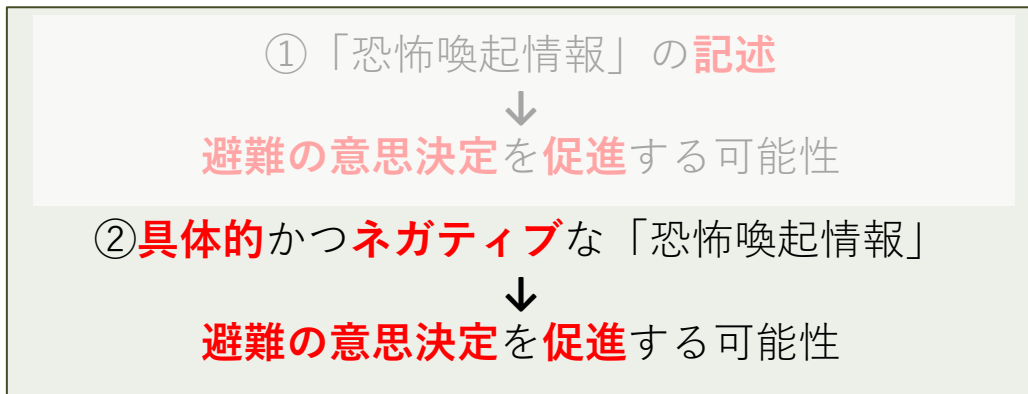


図4 6個の改善案における恐怖感と意思決定の平均

恐怖喚起排除型1 < 恐怖喚起排除型2 < 従来型 < ネガティブ型 < 具体化型 < 組み合わせ型

表11 凡例

型	恐怖喚起情報	危険の避け方
①従来型	手遅れ	守る
②恐怖喚起排除型1	×	×
③恐怖喚起排除型2	×	守る
④具体化型	死因	守る
⑤ネガティブ型	手遅れ	失う
⑥組み合わせ型	死因	失う



【恐怖感と意思決定の相関関係】

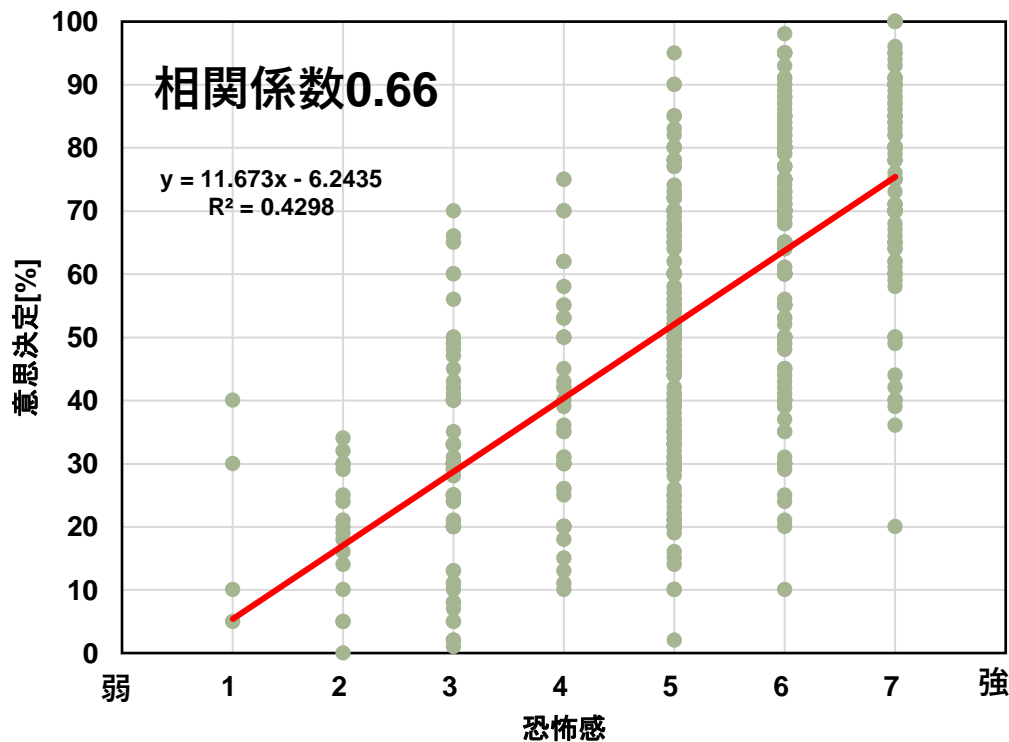


図5 恐怖感と意思決定の相関関係

表12 評価尺度

恐怖感	
非常に感じた	7
かなり感じた	6
やや感じた	5
どちらでもない	4
あまり感じなかった	3
ほとんど感じなかった	2
全く感じなかった	1
意思決定	
0~100%	

恐怖感が**強**くなるほど、避難の意思決定をする人が**増加**

アンケート結果 | 「警戒レベル」の理解度

対象：「警戒レベル」という言葉を聞いたことがある：107件

→警戒レベルの内容を提示し「どのくらい理解していましたか。」という質問に対する回答

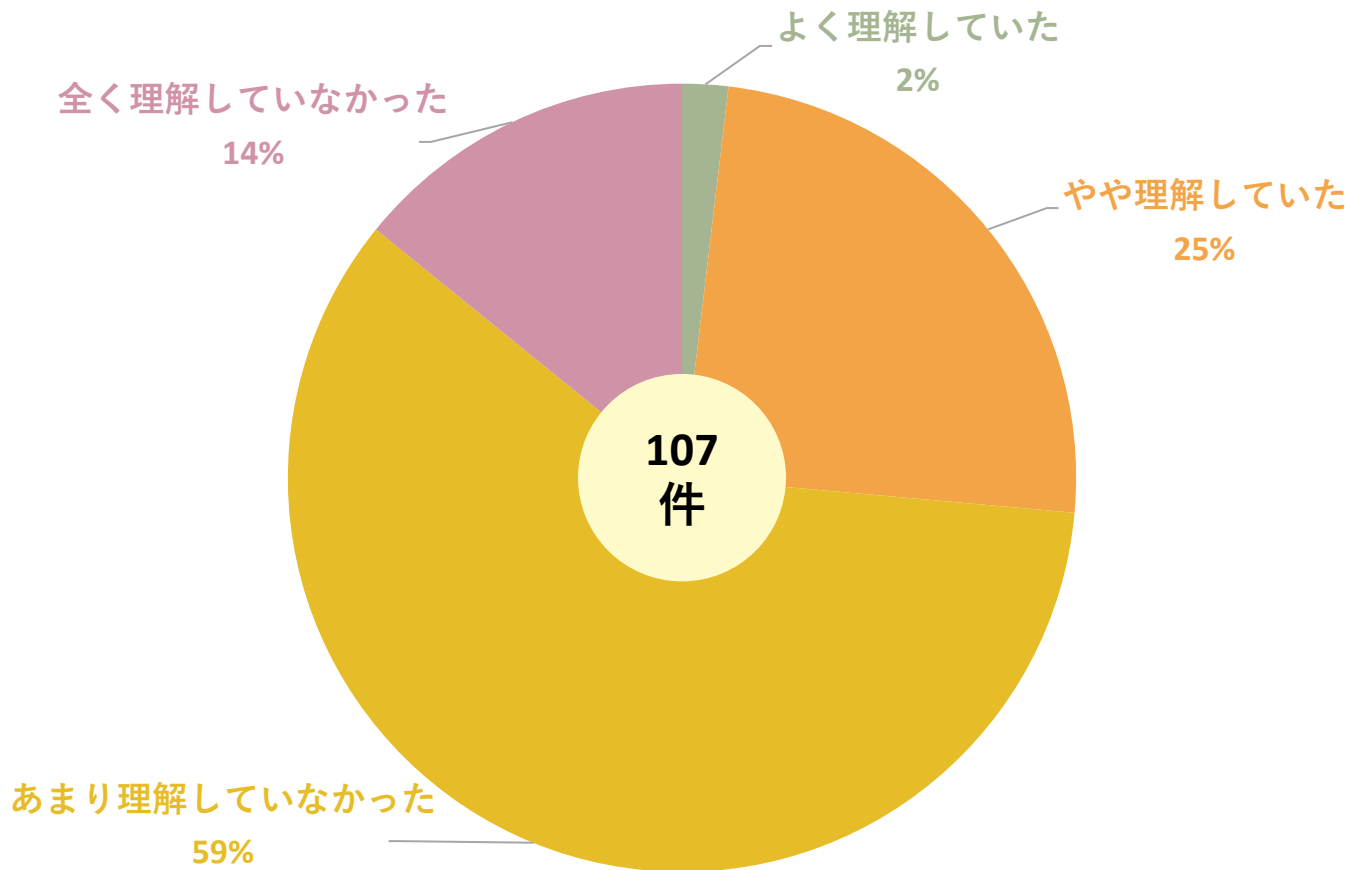


図6 「警戒レベル」の理解度の結果

アンケート結果の分析 | 理解度と恐怖感・意思決定との関係

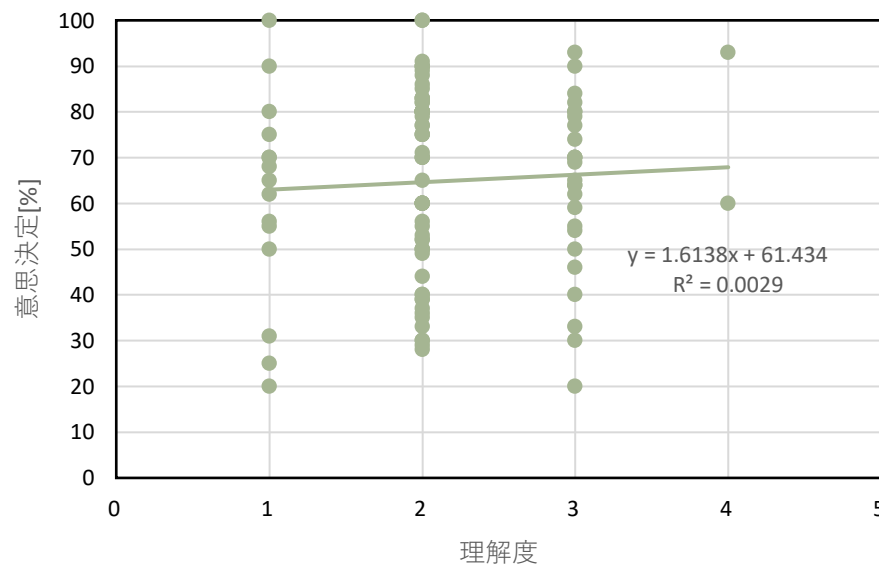
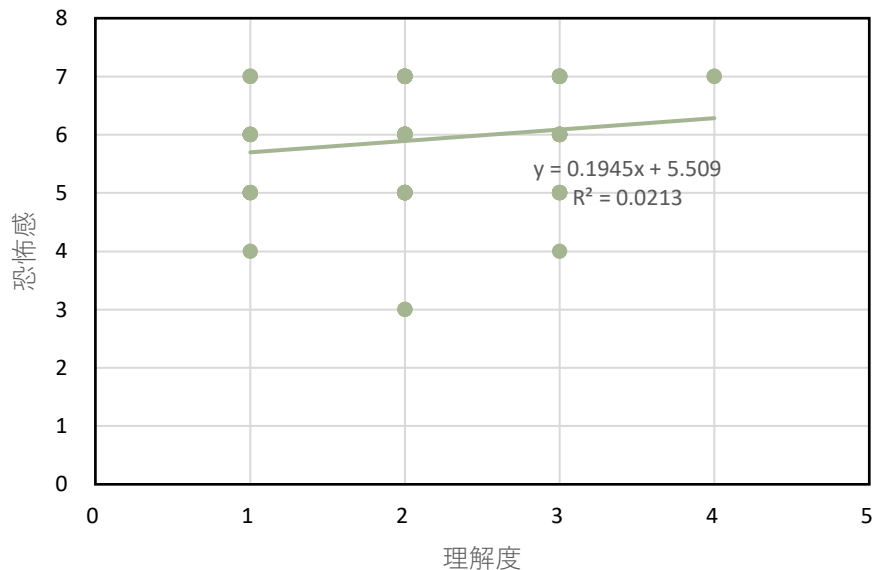


図7「組み合わせ型」恐怖感と「警戒レベル」の理解度との相関係数

図8「組み合わせ型」意思決定と「警戒レベル」の理解度との相関係数

相関係数：**0.149**

相関なし

相関係数：**0.054**

相関なし

恐怖の感じ方・意思決定に、理解度は**関係していない**

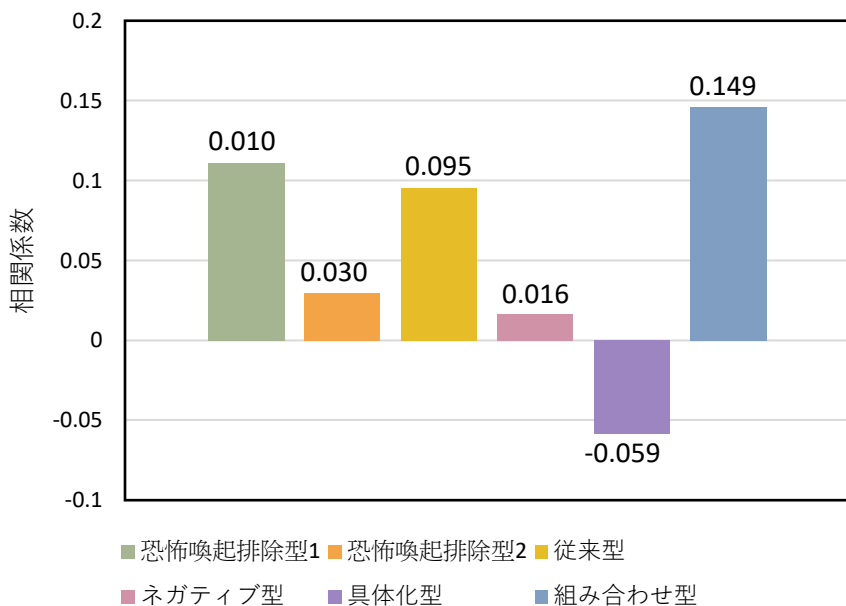


図9 理解度と恐怖感の相関係数

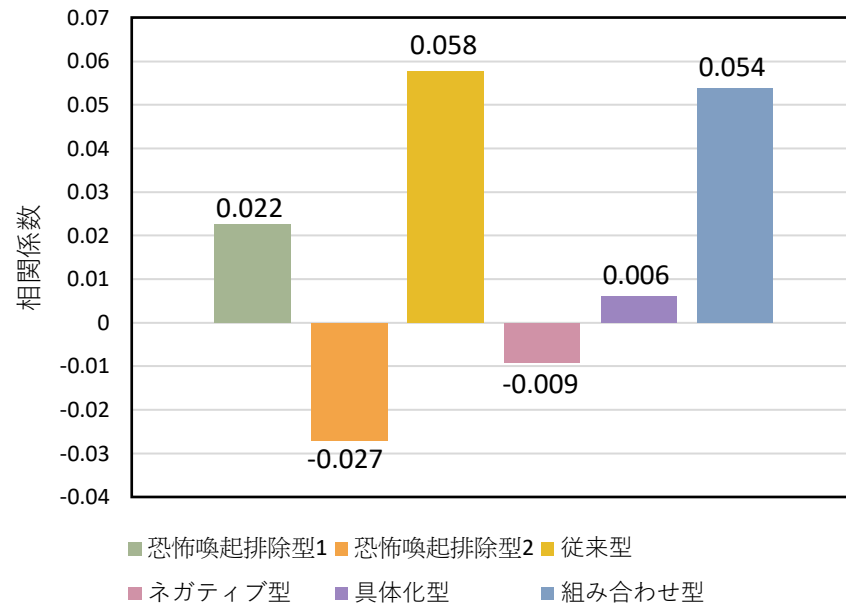


図10 理解度と意思決定の相関係数

それぞれの報道文においても
恐怖の感じ方・**意思決定**に、**理解度**は**関係していない**



理解度に関係なく、**恐怖**を与えれば、**意思決定**が促せる**可能性あり**

報道発表における問題提起

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の問題提起

アンケート調査による報道発表の表現の検討

恐怖コミュニケーションに基づいた報道発表の表現の検討

提案・今後の展望

災害時の避難の意思決定を目的とした報道発表に向けた提案

報道発表における提案

表13 既存の報道発表における「危険の避け方」に対する「恐怖喚起情報」の提案

		組み合わせ	
		恐怖喚起情報	危険の避け方
従来	特別警報の発表を待つことなく、避難勧告(警戒レベル4)等に従い、直ちに避難の判断 自分の命・大切な人の命を守るために		特別警報の発表を待つことなく、避難勧告(警戒レベル4)等に従い、直ちに避難の判断
提案	土砂災害による家屋損壊や生き埋め、 河川の増水や氾濫に伴う家屋浸水による溺死 家族や大切な人を失う危険		
従来	×		屋外での作業や不要・不急の外出は控える
提案	風にあおられることによる転倒・骨折		
従来	×		急傾斜地や増水している河川、農業用水など、危険な場所には近づかない
提案	土砂崩れによる生き埋め 河川や用水路への落下による溺死		
従来	×		道路冠水等が発生している場所を移動しない
提案	車の故障、車からの脱出困難 マンホールや側溝への落下による溺死		

◆報道発表の内容の分析の際に、アンケート調査において、**地域性**を考慮できなかった。

→**地域性**を考慮した提案

◆調査対象を大学生に絞って行った。

→**幅広い年代**を対象とした検討

◆恐怖の内容として、今回は人的被害を基に、**死因**を提示した。

→**恐怖の種類**も様々であることが考えられるため、今後は**内容の検討**が必要

◆今回は報道発表の改善を目指した。

→実際に**音声で伝える**ことによる検討

◆**理解度に関係なく**、恐怖を与えれば意思決定が促せる**可能性**

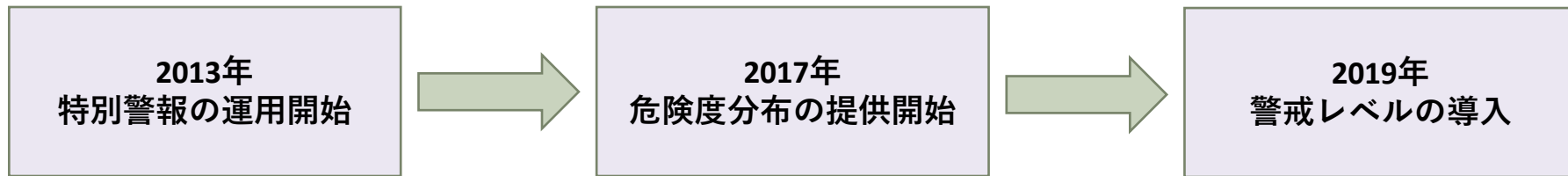
→**恐怖を与える際の表現方法**を考えていきたい。

- 1) 気象庁：防災気象情報と警戒レベルとの対応について <<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/alertlevel.html>> (最終アクセス日：2020/11/02)
- 2) 気象庁：令和元年台風第19号等を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について <<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/dai3kai/siryu1.pdf>> (最終アクセス日：2020/10/19)
- 3) 気象庁：防災気象情報の伝え方に関する検討会 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kentoukai/tsutaekata/tsutaekata_kentoukai.html> (最終アクセス日：2020/11/02)
- 4) 総務省：災害時における情報伝達と通信手段 <https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chosa/eisei_inet/pdf/chap03.pdf> (最終アクセス日：2020/10/23)
- 5) 気象庁：報道発表 梅雨前線に伴う大雨の見通しについて <<http://www.jma.go.jp/jma/press/2007/13a/kaisetsu202007131100.pdf>> (最終アクセス日：2020/10/19)
- 6) 気象庁：報道発表 梅雨前線に伴う大雨の見通しについて <<http://www.jma.go.jp/jma/press/2007/11a/kaisetsu202007111100.pdf>> (最終アクセス日：2020/10/19)
- 7) 池田謙一：意思決定の基礎—緊急時意思決定モデルの展開—, 東京大学新聞研究所紀要, NO.32, pp.237-289, 1984

ご清聴ありがとうございました

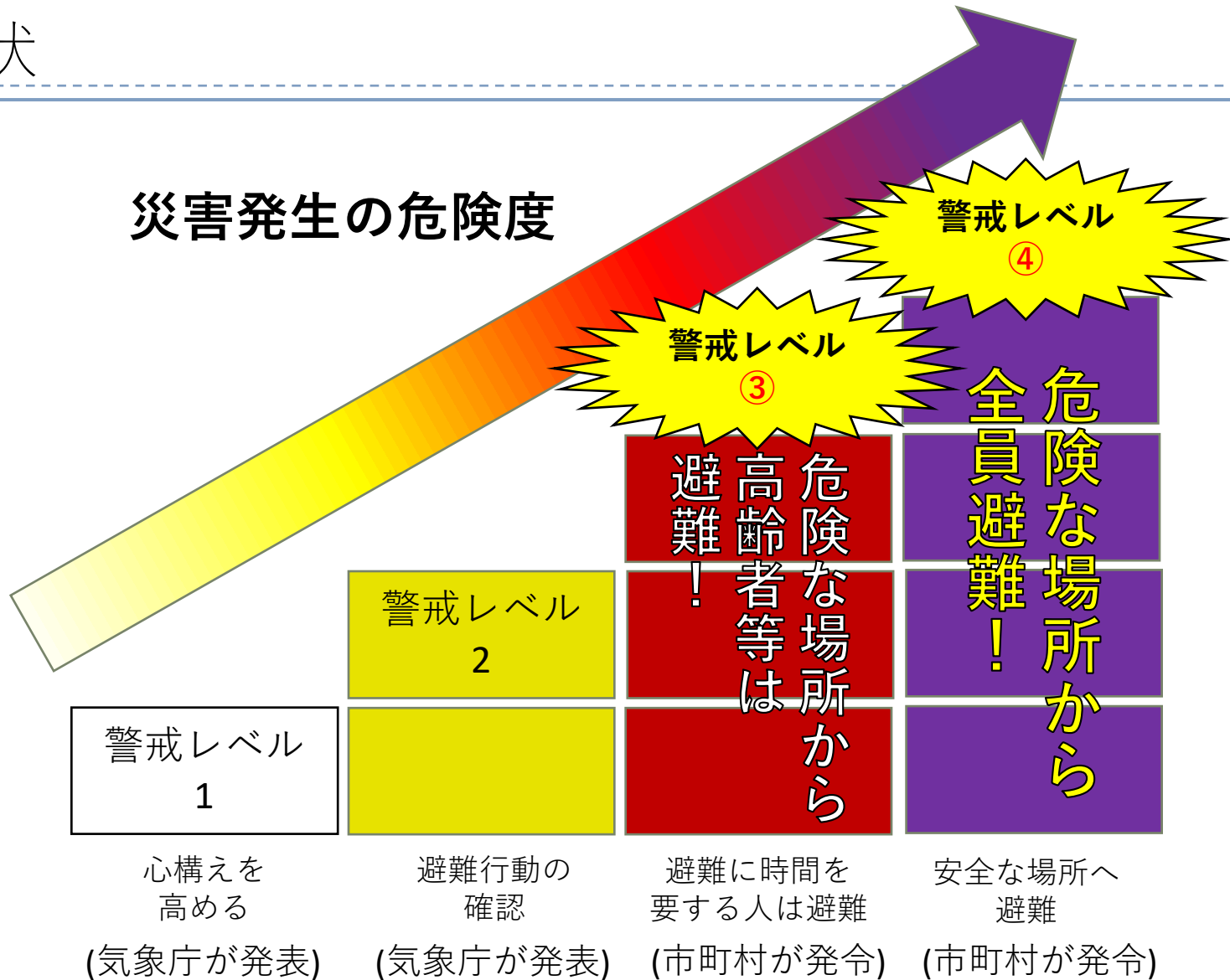
警戒レベルの理解度を聞く際に用いた資料

災害時における情報提供のこれまでの動き




警戒レベル	防災気象情報	取るべき行動
警戒レベル5相当	大雨特別警報 氾濫発生情報	何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動を取ってください
警戒レベル4相当	土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報 氾濫危険情報 危険度分布(非常に危険、極めて危険「紫」)	災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても、危険度分布や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。
警戒レベル3相当	大雨警報(土砂災害) 洪水警報 高潮注意報 氾濫警戒情報 危険度分布(警戒「赤」)	災害が想定されている区域等では、自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布や河川の水位情報等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。
警戒レベル2	はん濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 危険度分布(注意「黄」)	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください
警戒レベル1	早期注意情報(警報級の可能性)	最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めて下さい。

災害発生の危険度



[警戒レベル5](市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。



報道発表の傾向分析 ～テキストマイニング分析～

気象災害時の報道発表の表現の傾向・現状把握

表1 報道発表の傾向調査・分析概要

目的		報道発表における用語の表現の傾向・現状の把握
分析対象	資料	気象災害時の気象庁の 報道発表
	対象災害	気象庁HP「災害をもたらした気象事例」の中で死者が発生した災害
	期間	2013年9月(特別警報の運用開始)～2020年7月
分析方法	方法	テキストマイニング
	ツール	KH Coder3
	説明	テキスト型(文章型)データを統計的に分析するためのフリーソフトウェアで、アンケートの自由記述やインタビュー記録、新聞記事などさまざまな社会調査データを分析することができる ⁸⁾ 。
	前処理	「名詞」「サ変名詞」「形容動詞」「組織名」 「ナイ形容」「副詞可能」「タグ」「動詞」「形容詞」「副詞」 「タグ」：1語として抽出されない場合の強制抽出。また、分割が細かすぎる時に有効
分析内容	分析	品詞別の傾向把握： 「 ハザード・リスク情報 」とそれに対する「 住民の反応 」、 「その他」に分類

8) KH Coder <<https://kncoder.net/>> (最終アクセス日：2020/08/20)

気象災害時の報道発表の表現の傾向・現状把握

【ハザード・リスク情報】：【ハザード】...危険【リスク】...危険の生じる可能性
 気象と気象の様子、その危険性を表す用語・また気象に伴う被害と被害の様子を表した用語を分類

表2 ハザード・リスク情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
名詞	見込み・雨・災害・突風・大雨・高潮・暴風・竜巻・土砂崩れ・しけ						手遅れ	
サ変名詞	浸水・増水・氾濫・影響・北上・接近・発生							
							落雷	
						停電		
							損壊	
形容詞	非常・猛烈・安全・危険							
	重大							重大
							困難	
動詞	強まる							
	速める			速める				
				荒れる				
					高まる			
	差し迫る		差し迫る					
							押し寄せる	
							及ぶ・及ぼす	伴う

気象：変化なし
 気象の様子：変化なし

2019年～
 「切迫」

2018年～
 「停電」
 2019年～
 「困難」「損壊」
 ...「避難が困難になる」
 「及ぶ・及ぼす」「伴う」
 ...「命の危険が及ぶ・伴う」
 2020年
 「手遅れ」

...**住民への悪影響**



気象災害時の報道発表の表現の傾向・現状把握

表3 ハザード・リスク情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
副詞	特に						
	既に			既に			
				次第に			
				再び			
				さらに			
					極めて		
					却って		
タグ	おそれ						
	異常事態			異常事態			
	起こりやすい						
			記録的		記録的		
				交通障害			
				浸水害			
					道路冠水		
				家屋浸水			



「次第に」
→ 「さらに」
→ 「極めて」
...**切迫化**



2018年～
「交通障害」
2019年～
「道路冠水」 「家屋浸水」
...**身近な災害**

「ハザード・リスク情報」
切迫化・身近な災害・住民への悪影響の出現

気象災害時の報道発表の表現の傾向・現状把握

【住民の反応】

「ハザード・リスク情報」を受けた際に求められる住民の反応に関する用語を分類

表4 住民の反応

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
サ変名詞	警戒・注意・利用・確保・留意						
	退避		退避				
	外出		外出				
	作業						
	対応					対応	
		確認					
				行動			
				活用・管理			
						移動・判断	
						対策	
動詞							感染・懸念
	守る			守る		守る	
	従う		従う				
	控える						
	心掛ける				心掛ける		心掛ける
				助かる／待つ・思う・向かう・拘る			
						備える	
副詞可能 (時間帯・日付を表す用語を除く)		絶対					
						各自・自ら	

「行動」「活用」「管理」
「移動」「対策」
2020年
「留まる」
...**行動パターン**の増加



「守る」や「助かる」
...**ポジティブ**
ネガティブ：損としたとき

2019年～
「判断」「各自・自ら」
2020年
「考える」
...**責任**が**個人**に

気象災害時の報道発表の表現の傾向・現状把握

表5 住民の反応

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
形容動詞	厳重・十分						緊急
名詞					早め		
副詞	特に／既に・直ちに・引き続き(16年を除く)						
		予め			予め		
							改めて
タグ	最大級					最大級	
	要注意						
	早め早め・近づかない						
	適切な行動			適切な行動			
	油断しない			油断しない		油断することなく	
	余裕を持つ						
	最善を尽くす			最善を尽くす			
							躊躇わない

「厳重・十分」
...常に出現

2018年～
「早め」
2019年～
「緊急」 } **切迫化**



「予め」：事前準備
「改めて」：再確認

曖昧な表現
「躊躇わないで」
...避難を躊躇わないで
...新しい表現の出現

「住民の反応」
行動パターンの増加・ポジティブな表現・切迫化

気象災害時の報道発表の表現の傾向・現状把握

表6 その他の用語の傾向・変化

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
語尾			お願い				
	必要				必要		
					重要		
守る					自分の命・大切な人の命		
	身			身		身	
					命		
場所	二階			二階	二階以上		
					上層階	上の階	
					頑丈な建物		

「お願い」 → 「必要」 → 「重要」
 ...文末表現の**重大性**が**増加**

場所を表す用語の**具体化**

2018年～
 「**命**」の出現
 ...**危険の重大性**の**増加**

ミリ・hPa・m/sの提示

「その他」
 危険の重大性の増加・具体化・「命」の出現
 雨量・気圧・風速の提示

2020年10月台風第10号の新出単語

名詞	ダム 、 備え 、河口、事前、水量、堤防、ご覧、サイト、家屋、規模、国土、経路、ナウキャスト、 見た目 、時点、晴天、 積乱雲 、ピーク、屋内、確度、建物、現状、流量、 級 、 国 、住、 窓 、潮
サ変名詞	放流 、想定、冠水、倒壊、作成、参照、対策、把握、実施、 貯水 、開始、侵入、整備
形容動詞	甚大、明らか
副詞可能	一部
動詞	続ける、近づく、越える、行う、終わる、下げる、除く、貯める、立ち入る、引き続く、迎える、見込む、 囚われる 、努める、入る
形容詞	深い、早い、低い
副詞	できるだけ
その他の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「暴風による災害への備え」「近年の主な暴風による災害」 ・「高波・高潮による災害への備え」「過去の主な高波による災害」「過去の主な高潮による災害」 ・「大雨による災害への備え」 ・「突風や雷による災害への備え」